木棚板専用傾斜ブラケット 2350

木棚板専用傾斜棚受け（外々・内々仕様兼用）／ダボ付き木棚板専用傾斜棚受け（外々仕様専用）

ご発注の手引き

	品番	サイズ/呼び名	カラー	数量
1	AL-55S/56S	300	クローム	2
2	WT-P	16	ユニクロ	1

木部用ブラケットは左右セットでのご発注が可能です。（上記例の場合左右2本ずつ、合計4本となり、納品書や請求書もこの品番で作成させて頂きます）また、単品でお求めの場合左右の数量の差異は1本までとさせていただきますのでご了承ください。

タッピングビスの販売は1パック(50本入り)単位となります。数量欄には必ずパック数をご記入ください。

	品番	サイズ/呼び名	カラー	数量
1	AL-55SKD	300	クローム	25
2	AL-56SKD	300	クローム	25

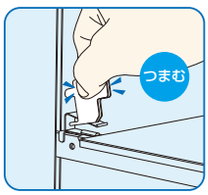
KD加工をお求めの場合は上記例のとおり品番の後にKDとご記入ください。

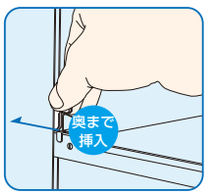
※上記品番は、参考選択例です。

POS（1個当たり定価）

10個売り

ステンレス
¥110





設計上の 情報 クローム ニッケル ゴールド 左記パターン価格表示製品は、一部製品を除き弊社オリジナルカラー対応いたします。（詳しくは 9970 参照）

設計上の お願い 棚受は相手柱により安全目安重量が異なります。設計段階から陳列商品の重量を考慮して適正製品をご選択ください。（ 9980 参照）

設計上の ご注意 木棚板固定方法は直接タッピングビスで固定する方法と（簡易）固定用ダボ・木棚固定ダボによる方法の3通りあります。使用目的に適した方法をそれぞれ設計段階からご検討ください。

設計上の ご注意 困難 固定 木部棚受のビス止めは爪が固定され、精度によりましては棚板の上下可動が困難となる恐れがあります。容易に可動させるためには簡易固定用ダボ仕様をおすすめします。

設計上の ご注意 木棚板専用傾斜ブラケットを急傾斜させる場合は棚板や陳列商品が落下しない様に、設計段階からご注意ください。（簡易固定用ダボによる固定は棚板落下の危険があります）

設計上の ご注意 棚受より極端に前にはみ出す棚板は使用しないでください。先端に荷重がかかった場合後部はね上がりの原因となります。（特に簡易固定ダボでの固定の場合は注意）

設計上の ご注意 のみこみ ベッカータイプサポート（1150 1200 9100 参照）に装着する場合は棚受の有効寸法が短くなりますので、棚板などの奥行き寸法にご注意ください。

設計上の ご注意 70mm以上 レベル出し金具（**LW**）を傾斜内々仕様で使用する場合は傾斜棚受の有効寸法より最低70mm奥行の長い棚板を使用して、L金具は奥から挿入してください。

設計上の ご注意 RPK 使用不可 左記マーク製品はベッカー用抜け止め（**RPK**）を使用する事はできませんので設計段階からご注意ください。

設計上の ご注意 傾斜ブラケットをご使用の際は陳列商品が落下しない様、棚板にこぼれ止めの細工を施してください。（但し4φこぼれ止め（2400）は水平棚専用のため使用できません）

設計上の ご注意 外々専用 **A-15S**・**A-50**は簡易固定専用ダボ付き棚受です。タッピングによる固定はできません。また製品がアングル状ではないためWスリットによる外々仕様の展開はできません。

設計上の ご注意 3mm 芯ずれ 傾斜ブラケットは構造上スリット芯々寸法と棚受の芯々寸法の間に約3mmのズレが生じます。ケース内側ギリギリに柱を取り付ける場合など厳密な設計をする場合はご注意ください。

設計上の 情報 併用可 ダボ付きブラケット**A-50**と**A-15S**（2310 参照）は棚受厚3mmを誤差範囲と仮定すれば同じ穴位置棚板が共用できます。（但し50ズレあり。例:**A-50-250**と**A-15S-300**が共用可能）

施工上の ご注意 木棚板は衝撃などによる棚板落下事故などがない様にタッピングビスか簡易固定用ダボ（KD加工または**WD-6-12**など）で必ず固定を行ってください。

発注上の ご注意 納期 本文価格青表示製品及び別注色製品は全て受注生産品ですので納期が必要です。（詳しくは 9970 参照）

発注上の ご注意 専用発注書 FAX ご注文は弊社専用発注書に必要事項を正確にもれの無い様ご記入頂き、FAXでお願いいたします。記入もれや判別困難は確認を要するなど手配が遅れる原因となります。（ 9955 参照）

取扱上の ご注意 傾斜棚受は左右の角度を正しく合わせた後、ギアが確実に嵌合している事を確認し、しっかりネジで固定してご使用ください。またゆるみが生じない様、定期点検を行ってください。

取扱上の ご注意 **抜け止めの取り外しについて**
お客様にて抜け止めを取り外し、再度同じ抜け止めを使用しての不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。